

申込み FAX 047-385-7070 (土曜日)

お名前	所属	連絡先

切り取り

切り取り

■ 向谷地 生良 (むかいやち・いくよし) 氏

浦河べてるの家ソーシャルワーカー / 北海道医療大学教授

青森県十和田市出身。青森県立三本木高等学校を卒業。福祉の道を志し、北星学園大学に入学。大学時代は、親からの仕送りを断り、老人福祉施設に住み込みでアルバイトをし、筋ジストロフィーなどの難病の当事者の支援なども行なった。

1978年に大学卒業後、北海道日高にある総合病院浦河赤十字病院病院に精神科専属のソーシャルワーカーとして勤務。「いつでも、どこでも、いつまでも」をモットーに患者に住所・連絡先を書いた名刺を配って歩き、24時間どこへでも駆けつけるスタイルの実践を展開し、精神科を退院して行き場のない当事者たちと共同生活をした。

1982年、当時、研修医として赴任してきた精神科医の川村敏明 (第9回若月賞受賞) と出会い、1984年には精神障害を経験した当事者たちの活動拠点、「浦河べてるの家」の設立に関わる。1992年からべてるの家にSSTを取り入れ、当事者研究(2001)等の新しい分野も開拓する。

向谷地氏が設立に中心的に関わり、今も理事を務める「浦河べてるの家」は、厚生労働省および国立精神・神経センターから、三鷹の巣立ち会、大阪のさわ病院等と共に日本の精神保健におけるベストプラクティスのひとつに選ばれた。向谷地氏は現在、北海道医療大学教授を兼務。札幌・浦河を往復するほか、国内外での「べてるの家の当事者研究」の講演会・研修会など、多忙を極めた日々を送っている。

■ 関係書籍(一部)

『べてるの家の「非」援助論そのままでもいいと思えるための25章』医学書院 2002年

浦河べてるの家『べてるの家の「当事者研究」』医学書院 2005年

向谷地生良『「べてるの家」から吹く風』いのちのことば社 2006年

向谷地生良『安心して絶望できる人生』NHK出版 2006年

向谷地生良『べてるな人々』第1集～第5集』一麦社 2017年

向谷地生良『統合失調症を持つ人への援助論』金剛出版 2008年

編集協力『レッツ! 当事者研究 1～2』コンボ 2011年

向谷地生良『技法以前』医学書院 2009年

共著『統合失調症』医学書院 2013年

向谷地生良『精神障害と教会』いのちのことば社 2015年

